

交流通信

田原市の友好都市
中国昆山市について
ご紹介します



企画課 23局3507



かつて、三国時代には吳の中心地として栄え、また、日本の着物（呉服）の発祥の地としても有名な、歴史的にも由緒ある土地です。

中国江蘇省にある昆山市は、長江デルタの東部に位置する中国随一の名勝地で「東洋のベニス」と呼ばれています。上海市の西約50kmに隣接しているため、その立地条件の良さから、近年は欧米や日本をはじめとする多数の海外企業が進出し、工業の街として急激な発展を遂げています。

昆山市のプロフィール



風情ある水路が観光名所となっている周庄（しょそう）

昆山市と田原市の交流

旧赤羽根町は、昆山市と平成5年5月14日に友好都市提携を行い、隔年での中学生や行政関係者の相互派遣、昆山市からの農業研修生受け入れなどを通じて相互理解を深めてきました。

平成15年8月の合併後も友好関係は田原市が引き継ぎ、今後の提携のあり方や、新しい交流について協議を進めています。

面積＝921km²　人口＝約60万人（2001年データ）　交通＝上海浦東国際空港より車で約1時間

知っていますか？
日本と中国のクリスマス



「日本人にクリスマスは関係ない！」という意見もありますが、「クリスマス」は俳句の季題にも使われており、意外とその歴史は古いのです。

日本

日本で最初にクリスマスを祝ったのは、室町時代（1338-1573）のキリスト大名（キリスト教を信仰する大名）だったといわれています。当時は、敵同士のキリスト大名が一時休戦してまで祝ったと伝えられています。市民にクリスマスの風習が広まったのは明治以降の1875年ごろから。明治10年代にはクリスマス用品が輸入されるようになり、次第に一般家庭でも催しが行われるようになりました。

中国

中国にクリスマスが伝わったのはごく最近の1990年代だといわれています。国の祝日に定められていませんが、都市部ではクリスマスセールやカードの交換が行われます。家庭におけるクリスマスの有無は、お母さんの裁量によるようです。昆山市は大きな都市ですので、クリスマスシーズンには街中がイルミネーションで輝くことでしょう。